県道水上片品線　スノーシェッド整備

高萩沢　土石流対策

県道昭和インター線（川額工区）歩道整備

よくわかる公共事業

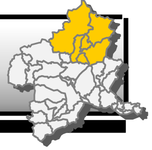
～ 公共事業の目的、効果、進捗状況を情報発信 ～

利根沼田地域

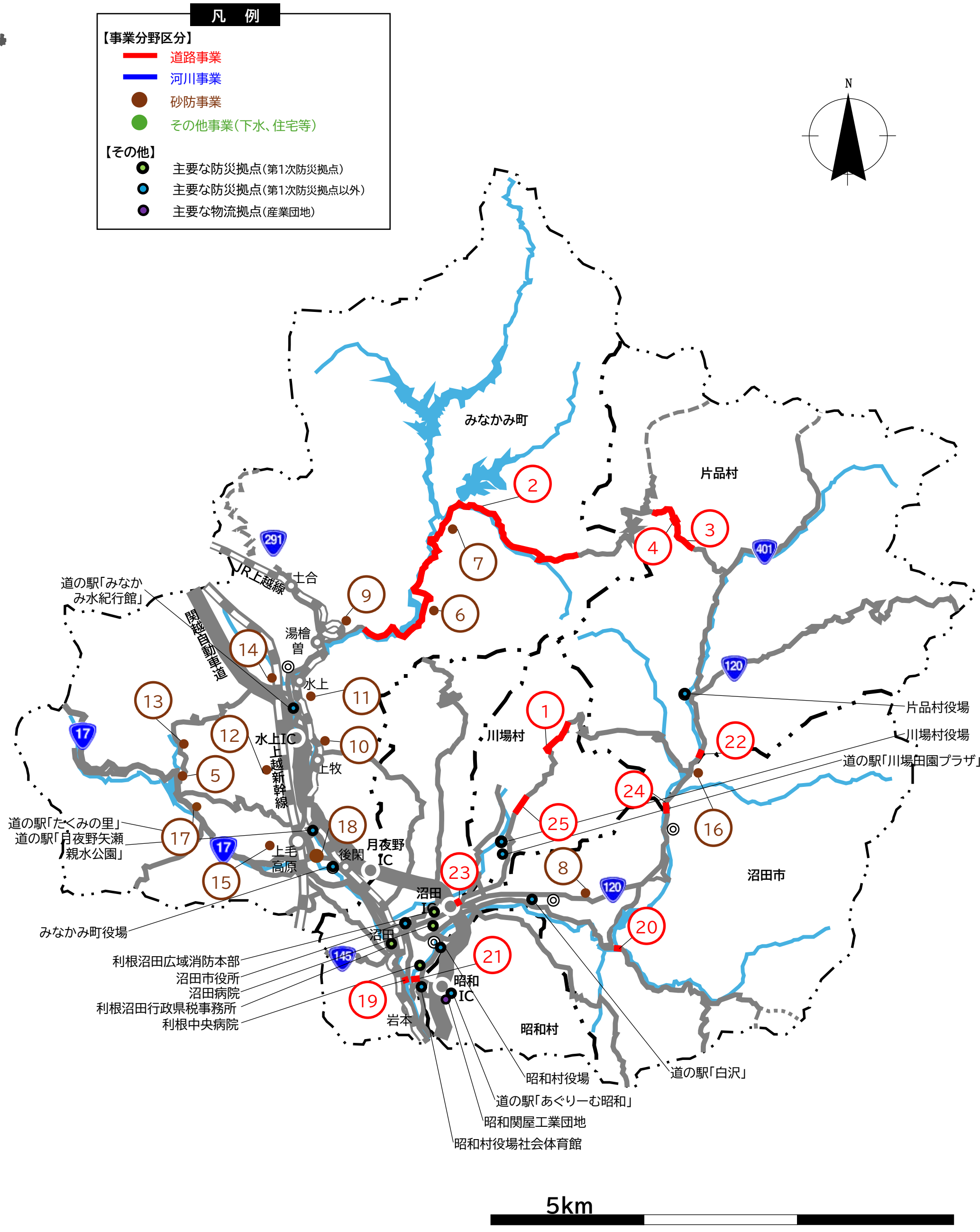
令和7年度版

群馬県　県土整備部

利根沼田地域



番号	事業内容	施工箇所	路河川名	ページ番号
1	落石対策	川場村川場湯原	県道平川横塚線	1
2		みなかみ町藤原ほか	県道水上片品線(みなかみ工区)	2
3		片品村戸倉	県道水上片品線(片品工区)	3
4	スノーシェッド整備	片品村戸倉	県道水上片品線(戸倉4工区)	4
5	土石流対策	みなかみ町相俣	葦ノ沢	5
6		みなかみ町藤原	平出沢	6
7		みなかみ町藤原	大芦沢	7
8		沼田市白沢町生枝	夏保沢	8
9		みなかみ町綱子	下西ノ沢	9
10		みなかみ町奈女沢	奈女沢	10
11	がけ崩れ対策	みなかみ町小日向	小日向1地区	11
12	土石流対策	みなかみ町小川	塩沢	12
13	がけ崩れ対策	みなかみ町相俣	赤谷3地区ほか	13
14		みなかみ町阿能川	阿能川地区	14
15	土石流対策	みなかみ町羽場	東神楽沢	15
16	がけ崩れ対策	沼田市利根町平川	伊香原1-2地区	16
17	土石流対策	みなかみ町新巻	十二河原沢ほか	17
18	がけ崩れ対策	みなかみ町月夜野	町並地区	18
19	老朽橋梁架替	沼田市屋形原町	県道戸鹿野下之町線(戸鹿野橋)	19
20		沼田市利根町園原	県道沼田大間々線(赤城根橋)	20
21	バイパス整備	昭和村森下	県道昭和インター線(森下工区)	21
22		片品村下平 ～沼田市利根町平川	国道120号(下平工区)	22
23	現道拡幅	沼田市横塚町	県道富士山横塚線(横塚工区)	23
24		沼田市利根町追貝	国道120号(追貝工区)	24
25	歩道整備	川場村川場湯原	県道平川横塚線(川場湯原工区)	25



県道平川横塚線（川場工区）落石対策事業

よくわかる公共事業

事業継続中

どのような未来を目指すための事業か

災害時にも機能する強靭な道路ネットワークを構築するため

落石を防ぐ施設をつくります

地元の声

- ・斜面が近く、木で斜面の状態が見えないため、不安がある。（道路利用者）
- ・悪天候時に落石が発生しやすいため、安心して通行できる道路にして欲しい。（道路利用者）

事業の概要

- ■ 事業箇所：川場村川場湯原
- ■ 事業内容：落石対策　4箇所
- ■ 事業期間：平成29年度～
- ■ 現在の交通量：1,104台/日（自動車）（R3年度）
- ■ 緊急輸送道路区分：第2次緊急輸送道路

事業前

◆法面の浸食が進み、大雨等の際に落石や土砂崩落により道路が寸断するおそれがあります。

事業前の状況

事業後

◆法面の落石対策工事により、道路への落石を防ぐことで、道路の寸断リスクを軽減します。

事業後のイメージ

成果を示す項目	実施前	実施後（目標）
落石危険箇所数	4箇所	0箇所

事業の進捗状況（令和7年3月末現在）

今、何をしているか

令和7年度は、1工区の落石対策工事を実施します。

事業のすすみ具合　事業開始 ●━━━━━━━━●・・・・・・・・● 事業完了

県道水上片品線（みなかみ工区）落石対策事業

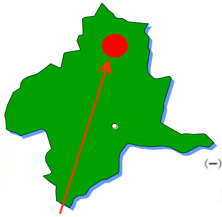
よくわかる公共事業

事業継続中

どのような未来を目指すための事業か

災害時にも機能する強靭な道路ネットワークを構築するため

落石を防ぐ施設をつくります



地元の声

・尾瀬などの観光地へのアクセスルートのため、安全に通れるようにしてほしい。（道路利用者）

事業の概要

- 事業箇所：みなかみ町粟沢～藤原
- 事業内容：落石対策　32箇所
- 事業期間：平成30年度～
- 現在の交通量：2,918台/日（自動車）（R3年度）
- 緊急輸送道路区分：第3次緊急輸送道路

事業前

◆法面の浸食が進み、大雨等の際に落石や土砂崩落により道路が寸断するおそれがあります。

事業前の状況

事業後

◆法面の落石対策工事により、道路への落石を防ぐことで、道路の寸断リスクを軽減します。

事業後のイメージ

成果を示す項目	実施前	実施後（目標）
落石危険箇所	32箇所	0箇所

事業の進捗状況（令和7年3月末現在）

○工事完了　○R7工事実施　○工事未着手

今、何をしているか

令和7年度は、未対策箇所の工事を実施します。

事業のすすみ具合

事業開始 ―――――― 事業完了

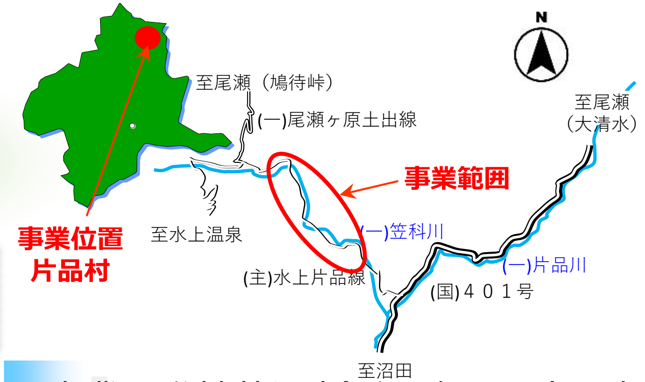
県道水上片品線（片品工区）落石対策事業

事業継続中

どのような未来を目指すための事業か

災害時にも機能する強靭な道路ネットワークを構築するため

落石を防ぐ施設をつくります



地元の声

・尾瀬などの観光地へのアクセスルートであるため、安全に通れるようにしてほしい。（道路利用者）

事業の概要

- 事業箇所：片品村戸倉
- 事業内容：落石対策　7箇所
- 事業期間：平成30年度～
- 現在の交通量 ：384台/日（自動車）（R3年度）
- 緊急輸送道路区分 ：第3次緊急輸送道路

事業前

◆法面の浸食が進み、大雨等の際に落石や土砂崩落により道路が寸断するおそれがあります。

事業前の状況

事業後

◆法面の落石対策工事により、道路への落石を防ぐことで、道路の寸断リスクを軽減します。

事業後のイメージ

成果を示す項目	実施前	実施後（目標）
落石危険箇所数	7箇所	0箇所

事業の進捗状況（令和7年3月末現在）

今、何をしているか

令和7年度は、対策完了箇所の道路台帳修正を実施します。

事業のすすみ具合

事業開始 ―――― 事業完了

県道水上片品線（戸倉4工区）スノーシェッド整備事業

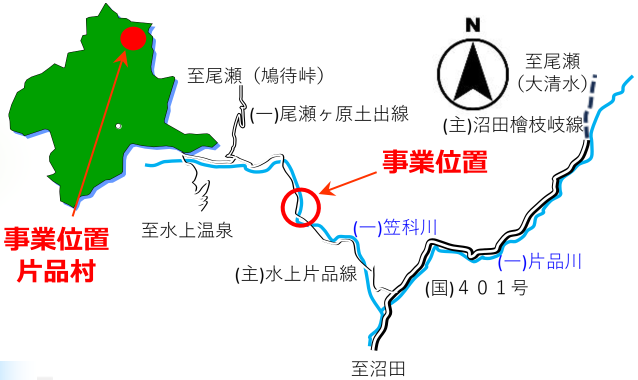
よくわかる公共事業

事業継続中

どのような未来を目指すための事業か

災害時にも機能する強靭な道路ネットワークを構築するため

スノーシェッドをつくります



地元の声

・残雪期の雪崩による道路への被害を防いでほしい。(道路利用者)

事業の概要

- 事業箇所:片品村戸倉
- 事業内容:スノーシェッド整備　延長72m
- 事業期間:令和元年度～
- 現在の交通量:384台/日(自動車)（R3年度）

事業前

◆春の雪解けにより、斜面の残雪が道路上に崩れ落ち、道路を寸断するおそれがあります。

事業前の状況

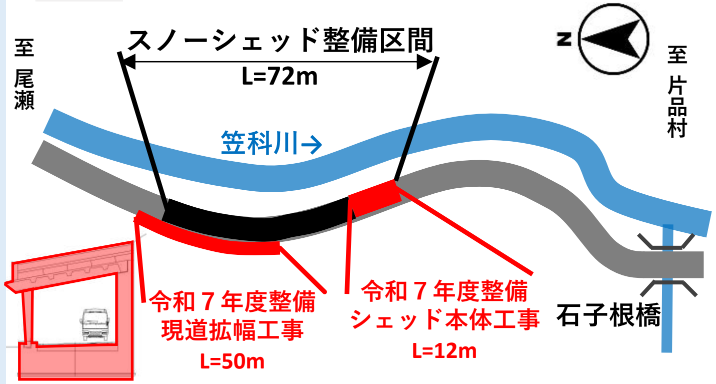
事業後

◆スノーシェッドの整備により、残雪が道路に崩れ落ちるのを防ぎ、安全な通行を確保します。

事業後のイメージ

成果を示す項目	実施前	実施後(目標)
雪崩のおそれによる夜間通行止め	11日/10年	0日/年

事業の進捗状況(令和7年3月末現在)



今、何をしているか

令和7年度は、前年度に引き続き整備のための道路拡幅及びスノーシェッド本体の工事を実施します。

事業のすすみ具合

事業開始 ―――― 事業完了

令和7年度

政策1　災害レジリエンスNo.1の実現

葦ノ沢（あしのさわ）　土石流対策事業

よくわかる公共事業

事業継続中

どのような未来を目指すための事業か

土砂災害リスクを軽減するため

砂防堰堤をつくります

事業位置
みなかみ町

地元の声

・集中豪雨などの際に発生する土石流に対して、不安を抱いている。（地元住民）
・早期に砂防堰堤を完成させてほしい。（地元住民）

事業の概要

- 事業箇所：みなかみ町相俣
- 事業内容：砂防堰堤　3基
- 事業期間：平成28年度～

事業前

◆ 渓流が荒廃しており、大雨等により土石流や流木が発生するおそれがあります。

事業前の状況

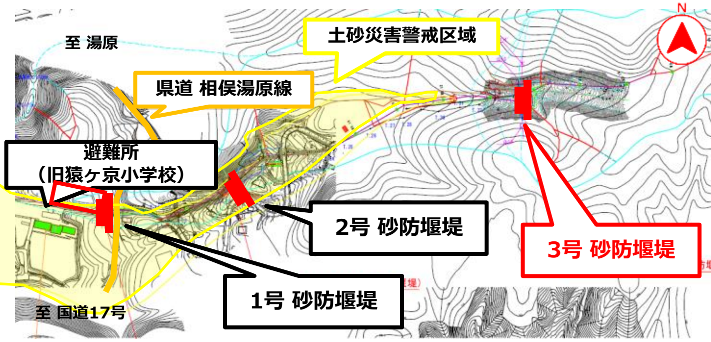
事業後

◆ 砂防堰堤の整備により、大雨等による土石流や流木の被害のリスクを軽減します。

事業後のイメージ

成果を示す項目	実施前	実施後（目標）
被害を受けるおそれのある人家	6戸	0戸
被害を受けるおそれのある重要施設等	2施設（旧猿ヶ京小学校）	0施設
被害を受けるおそれのある重要交通網	1箇所（県道相俣湯原線）	0箇所

事業の進捗状況（令和7年3月末現在）



今、何をしているか

令和7年度は3号堰堤の工事を行います。

3号堰堤工事状況

事業のすすみ具合　事業開始 ●━━━━━━━━ ・・・・● 事業完了

平出沢(ひらいでさわ) 土石流対策事業

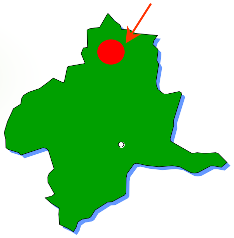
事業継続中

どのような未来を目指すための事業か

土砂災害リスクを軽減するため

砂防堰堤をつくります

事業位置
みなかみ町



地元の声

・台風や大雨が降ると土石流が発生する心配があるので、早く堰堤が出来ることを望む。(地元住民)

事業の概要

- 事業箇所:みなかみ町藤原
- 事業内容:砂防堰堤　1基
- 事業期間:平成29年度～

事業前

◆ 渓流が荒廃しており、大雨等により土石流や流木が発生するおそれがあります。

事業前の状況

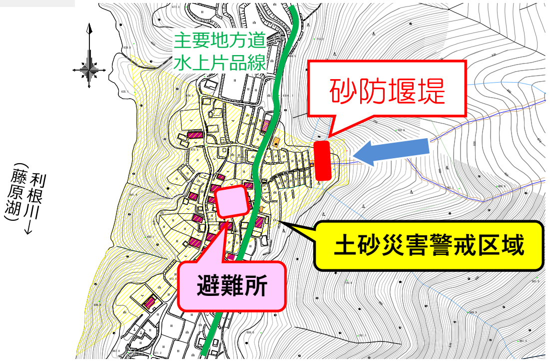
事業後

◆ 砂防堰堤の整備により、大雨等による土石流や流木の被害のリスクを軽減します。

事業後のイメージ

成果を示す項目	実施前	実施後(目標)
被害を受けるおそれのある人家	15戸	0戸
被害を受けるおそれのある重要施設等	1施設 (平出会館)	0施設
被害を受けるおそれのある重要交通網	1箇所 (県道水上片品線)	0箇所

事業の進捗状況(令和7年3月末現在)



今、何をしているか

令和7年度は、引き続き砂防堰堤の工事を実施します。

工事箇所状況

事業のすすみ具合

事業開始 ―――― 事業完了

大芦沢（おおあしさわ）　土石流対策事業

よくわかる公共事業

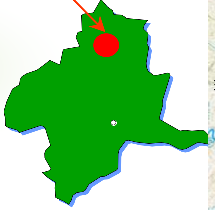
事業継続中

どのような未来を目指すための事業か

土砂災害リスクを軽減するため

砂防堰堤をつくります

事業位置
みなかみ町



地元の声

・毎年、豪雨による出水が心配で早く堰堤が出来ることを望んでいます。（地元住民）

事業の概要

- 事業箇所：みなかみ町藤原
- 事業内容：砂防堰堤　1基
- 事業期間：平成29年度～

事業前

◆ 渓流が荒廃しており、大雨等により土石流や流木が発生するおそれがあります。

事業前の状況

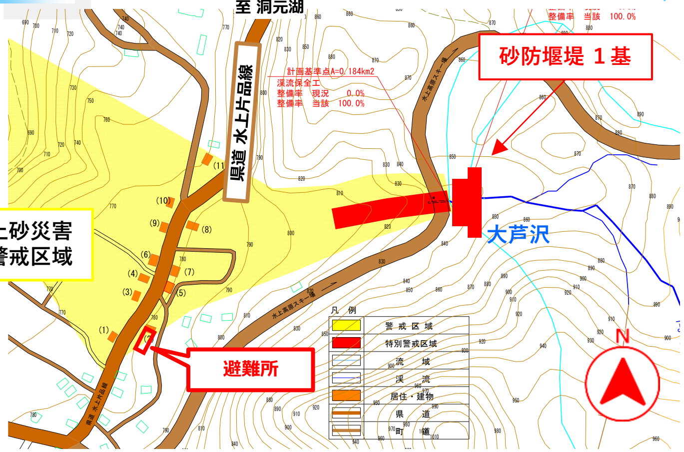
事業後

◆ 砂防堰堤の整備により、大雨等による土石流や流木の被害のリスクを軽減します。

事業後のイメージ

成果を示す項目	実施前	実施後（目標）
被害を受けるおそれのある人家	11戸	0戸
被害を受けるおそれのある重要施設等	1施設（板東会館）	0施設
被害を受けるおそれのある重要交通網	1箇所（県道水上片品線）	0箇所

事業の進捗状況（令和7年3月末現在）



今、何をしているか

令和7年度は、砂防堰堤のスリット設置工事を実施します。

施工状況

事業のすすみ具合

事業開始 ―――――――― 事業完了

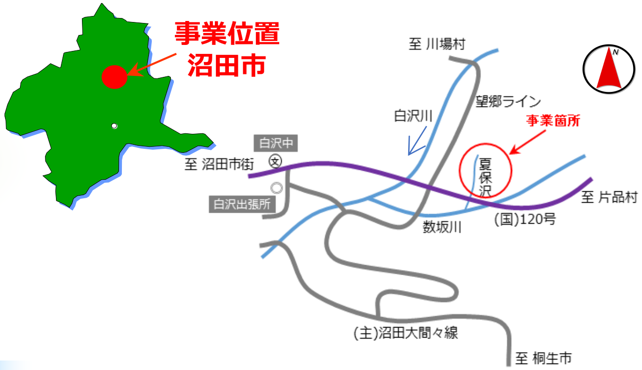
夏保沢（なつほさわ） 土石流対策事業

事業継続中

どのような未来を目指すための事業か

土砂災害リスクを軽減するため

砂防堰堤をつくります



地元の声

・集中豪雨等による土石流が心配。下流には人家や畑が多いので、対策をしてほしい。（地元住民）

事業の概要

- 事業箇所：沼田市白沢町生枝
- 事業内容：砂防堰堤　１基
- 事業期間：平成29年度～

事業前

◆ 渓流が荒廃しており、大雨等により土石流や流木が発生するおそれがあります。

事業前の状況

事業後

◆ 砂防堰堤の整備により、大雨等による土石流や流木の被害のリスクを軽減します。

事業後のイメージ

成果を示す項目	実施前	実施後（目標）
被害を受けるおそれのある人家	87戸	0戸

事業の進捗状況（令和7年3月末現在）

今、何をしているか

令和７年度は、引き続き管理用道路の工事を実施します。

事業のすすみ具合　事業開始 ―――― 事業完了

下西ノ沢（しもにしのさわ）　土石流対策事業

事業継続中

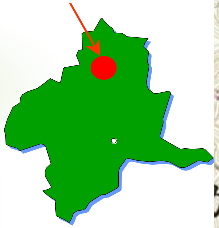
どのような未来を目指すための事業か

土砂災害リスクを軽減するため　**砂防堰堤をつくります**

地元の声

- ・豪雨による土砂災害の被害が心配なので、一刻も早く砂防堰堤を建設してほしい。(地元住民)
- ・過去の大雨で西の沢から土砂が溢れたので、頑強で大きな砂防堰堤を建設してほしい。(地元住民)

事業位置　みなかみ町



事業の概要

- ■ 事業箇所：みなかみ町網子
- ■ 事業内容：砂防堰堤　1基
- ■ 事業期間：平成29年度～

事業前

◆ 渓流が荒廃しており、大雨等により土石流や流木が発生するおそれがあります。

事業前の状況

事業後

◆ 砂防堰堤の整備により、大雨等による土石流や流木の被害のリスクを軽減します。

事業後のイメージ

成果を示す項目	実施前	実施後（目標）
被害を受けるおそれのある人家	18戸	0戸
被害を受けるおそれのある重要施設等	1施設 （農林漁業者等健康増進施設）	0施設
被害を受けるおそれのある重要交通網	1路線 （水上片品線）	0箇所

事業の進捗状況（令和7年3月末現在）

今、何をしているか

令和7年度は、工事用道路の工事を実施します。

工事用道路（イメージ）

事業のすすみ具合　事業開始 ―― 事業完了

令和
7
年度

政策1 災害レジリエンスNo.1の実現
奈女沢(なめさわ) 土石流対策事業

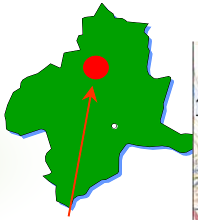
よくわかる公共事業

事業継続中

どのような未来を目指すための事業か

土砂災害リスクを軽減するため

砂防堰堤をつくります



事業位置
みなかみ町

地元の声

・毎年、梅雨の時期の出水が心配で、早く堰堤ができることを望みます。(地元住民)

事業の概要

- 事業箇所:みなかみ町奈女沢
- 事業内容:砂防堰堤 3基
- 事業期間:平成29年度~

事業前

◆ 渓流が荒廃しており、大雨等により土石流や流木が発生するおそれがあります。

事業前の状況

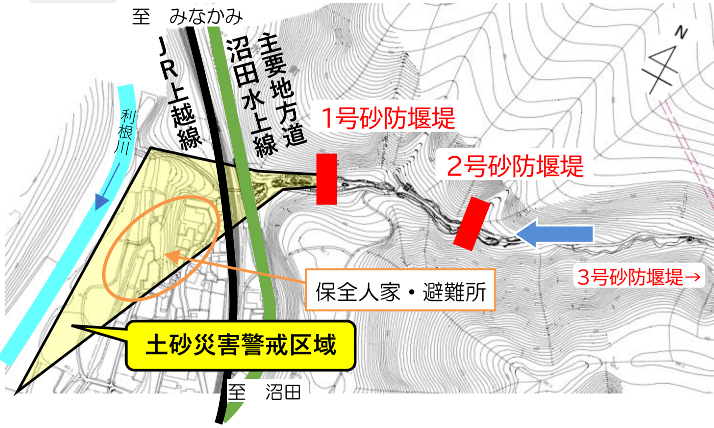
事業後

◆ 砂防堰堤の整備により、大雨等による土石流や流木の被害のリスクを軽減します。

事業後のイメージ

成果を示す項目	実施前	実施後(目標)
被害を受けるおそれのある人家	8戸	0戸
被害を受けるおそれのある重要施設等	1施設 (奈女沢集会場)	0施設
被害を受けるおそれのある重要交通網	2箇所 (県道沼田水上線、JR上越線)	0箇所

事業の進捗状況(令和7年3月末現在)



今、何をしているか

令和7年度は、2号堰堤の工事と管理用道路の工事を実施します。

1号砂防堰堤工事状況

事業のすすみ具合

事業開始 ―― 事業完了

小日向（おびなた）1地区　がけ崩れ対策事業

よくわかる公共事業

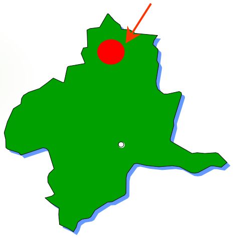
事業継続中

どのような未来を目指すための事業か

土砂災害リスクを軽減するため

擁壁と防護柵をつくります

事業位置
みなかみ町



地元の声

・急勾配の山があるため、大雨が降ったりすると非常に心配。(地元住民)

事業の概要

- 事業箇所：みなかみ町小日向
- 事業内容：擁壁工　122m　、　防護柵工　187m
- 事業期間：令和元年度～

事業前

◆　斜面が急であるため、大雨等でがけ崩れが発生するおそれがあります。

事業前の状況

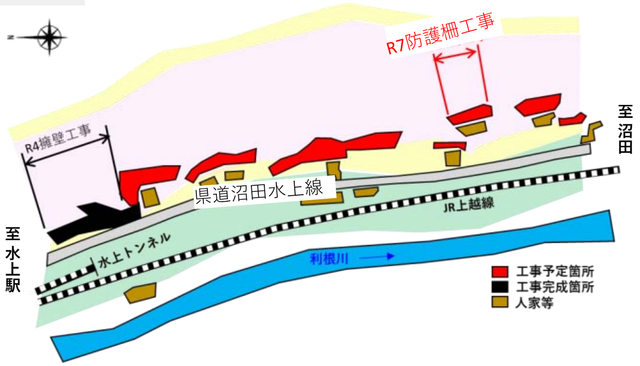
事業後

◆　擁壁と防護柵をつくることにより、落石や崩壊土砂を受け止め、がけ崩れによる被害のリスクを軽減します。

事業後のイメージ

成果を示す項目	実施前	実施後（目標）
被害を受けるおそれのある人家	11戸	0戸
被害を受けるおそれのある重要交通網	2路線 (県道沼田水上線、JR上越線)	0路線

事業の進捗状況（令和7年3月末現在）



今、何をしているか

令和7年度は、防護柵工事を実施します。

工事箇所状況

事業のすすみ具合　事業開始 ―― 事業完了

令和7年度

政策1　災害レジリエンスNo.1の実現

塩沢（しおさわ）　土石流対策事業

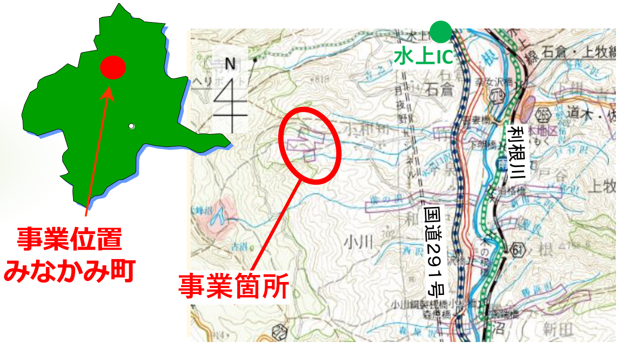
よくわかる公共事業

事業継続中

どのような未来を目指すための事業か

土砂災害リスクを軽減するため

砂防堰堤をつくります



地元の声

・集中豪雨等が多く、土石流や出水による被害が心配なので、早く堰堤を整備してほしい。(地元住民)

事業の概要

- 事業箇所:みなかみ町小川
- 事業内容:砂防堰堤　4基
- 事業期間:平成13年度～

事業前

◆ 渓流が荒廃しており、大雨等により土石流や流木が発生するおそれがあります。

事業前の状況

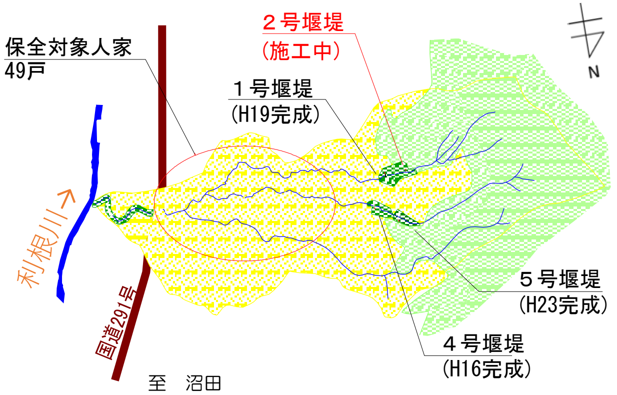
事業後

◆ 砂防堰堤の整備により、大雨等による土石流や流木の被害のリスクを軽減します。

事業後のイメージ

成果を示す項目	実施前	実施後(目標)
被害を受けるおそれのある人家	49戸	0戸
被害を受けるおそれのある重要施設等	1施設 (小和知公民館)	0施設
被害を受けるおそれのある重要交通網	1箇所 (国道291号)	0箇所

事業の進捗状況(令和7年3月末現在)



今、何をしているか

令和7年度は、2号堰堤の前庭保護工の工事を実施します。

2号堰堤の前庭保護工事状況

事業のすすみ具合　事業開始 ―― 事業完了

赤谷(あかや)3地区 がけ崩れ対策事業

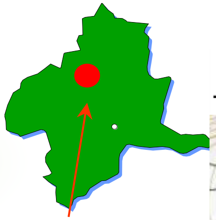
よくわかる公共事業

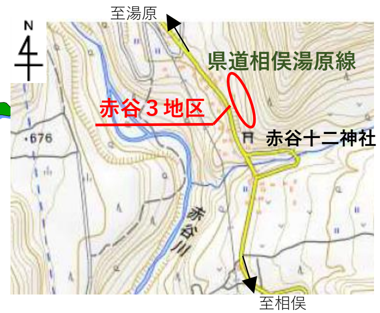
事業継続中

どのような未来を目指すための事業か

土砂災害リスクを軽減するため

擁壁をつくります





地元の声

- ・がけ崩れから避難所に指定されている赤谷公民館を守っていただきたい。(地元住民)
- ・急勾配の山があるため、大雨が降ったりすると非常に心配。(地元住民)
- ・雨が降ると土砂が流出してくるので対策してほしい。(地元住民)

事業の概要

- ■ 事業箇所:みなかみ町相俣
- ■ 事業内容:擁壁工　71.6m
- ■ 事業期間:令和2年度～

事業前

◆ 斜面が急であるため、大雨等でがけ崩れが発生するおそれがあります。

保全対象（赤谷公民館）　事業前の状況

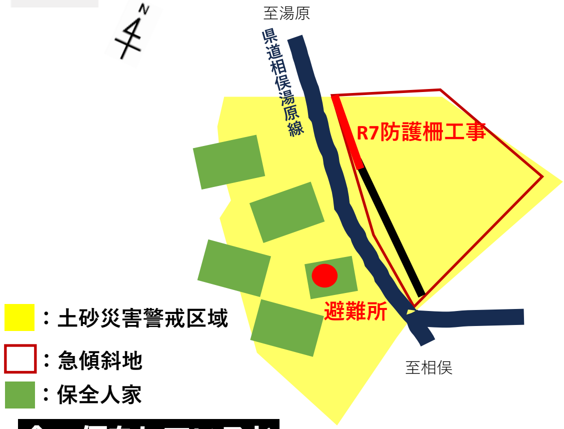
事業後

◆ 擁壁をつくることにより、落石や崩壊土砂を受け止め、がけ崩れによる被害のリスクを軽減します。

事業後のイメージ

成果を示す項目	実施前	実施後(目標)
被害を受けるおそれのある人家	9戸	0戸
被害を受けるおそれのある重要施設等	1施設(赤谷公民館)	0施設
被害を受けるおそれのある重要交通網	1路線(県道相俣湯原線)	0路線

事業の進捗状況(令和7年3月末現在)



今、何をしているか

令和7年度は引き続き擁壁工の工事を実施します。

擁壁完成区間の状況

事業のすすみ具合　事業開始 ―――― 事業完了

阿能川（あのうかわ）地区 がけ崩れ対策事業

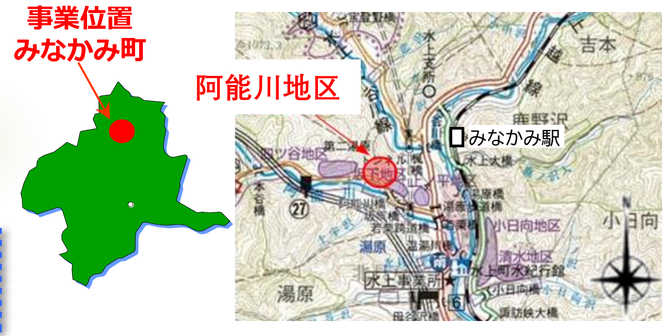
よくわかる公共事業

事業継続中

どのような未来を目指すための事業か

土砂災害リスクを軽減するため

擁壁と防護柵をつくります



地元の声

- ・がけ崩れから避難所に指定されている阿能川会館を守っていただきたい。（地元住民）
- ・急勾配の山があるため、大雨が降ったりすると非常に心配。（地元住民）

事業の概要

- ■ 事業箇所：みなかみ町阿能川
- ■ 事業内容：擁壁工 63m 、 防護柵工 103m
- ■ 事業期間：平成30年度～

事業前

◆ 斜面が急であるため、大雨等でがけ崩れが発生するおそれがあります。

事業前の状況

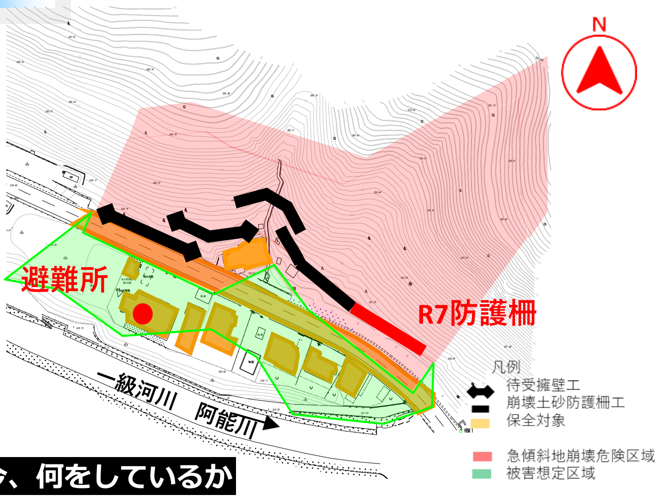
事業後

◆ 擁壁と防護柵をつくることにより、落石や崩壊土砂を受け止め、がけ崩れによる被害のリスクを軽減します。

事業後のイメージ

成果を示す項目	実施前	実施後（目標）
被害を受けるおそれのある人家	6戸	0戸
被害を受けるおそれのある重要施設等	1施設（阿能川会館）	0施設

事業の進捗状況（令和7年3月末現在）



今、何をしているか

令和7年度は、引き続き防護柵の工事を実施します。

工事箇所状況

事業のすすみ具合

事業開始 ―――――――― 事業完了

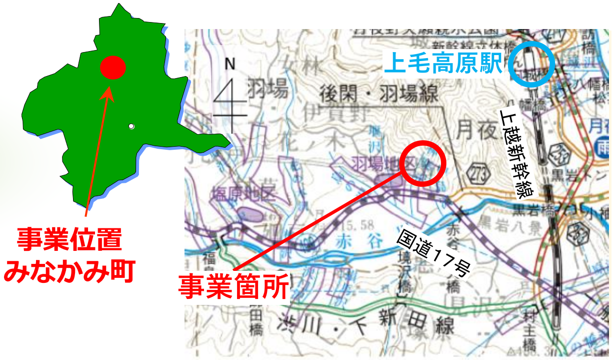
東神楽沢（ひがしかぐらさわ） 土石流対策事業

事業継続中

どのような未来を目指すための事業か

土砂災害リスクを軽減するため

砂防堰堤をつくります



地元の声

・近年は集中豪雨が多く、土石流などの自然災害に不安を抱いている。（地元住民）
・砂防堰堤を早期に完成させてほしい。（地元住民）

事業の概要

■ 事業箇所：みなかみ町羽場
■ 事業内容：砂防堰堤　1基
■ 事業期間：令和3年度～

事業前

◆ 渓流が荒廃しており、大雨等により土石流や流木が発生するおそれがあります。

事業前の状況

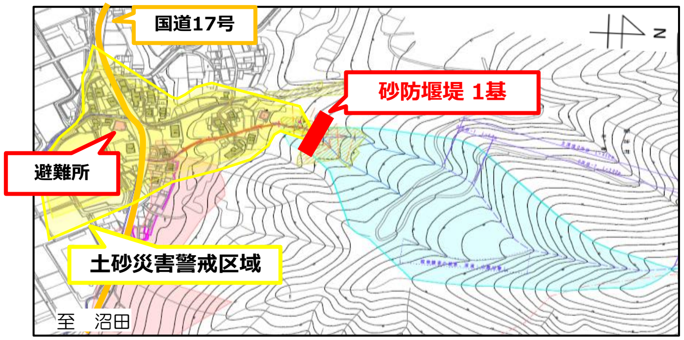
事業後

◆ 砂防堰堤の整備により、大雨等による土石流や流木の被害のリスクを軽減します。

事業後のイメージ

成果を示す項目	実施前	実施後（目標）
被害を受けるおそれのある人家	49戸	0戸
被害を受けるおそれのある重要施設等	1施設（下羽場公民館）	0施設
被害を受けるおそれのある重要交通網	1箇所（国道17号）	0箇所

事業の進捗状況（令和7年3月末現在）



今、何をしているか

令和7年度は、前庭保護工と管理用道路の工事を実施します。

前庭保護工事状況

事業のすすみ具合

事業開始 ●━━━━━━━━━━●・・・・● 事業完了

伊香原(いかはら)1－2地区 がけ崩れ対策事業

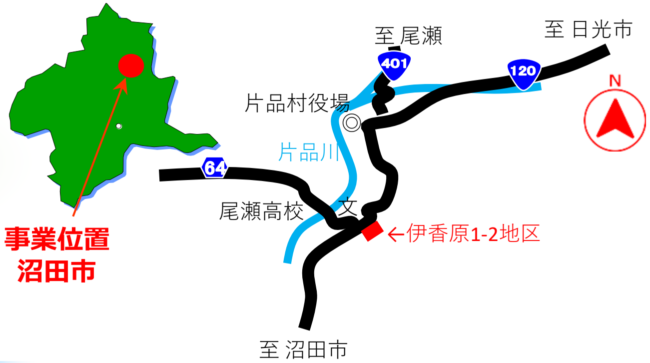
よくわかる公共事業

事業継続中

どのような未来を目指すための事業か

土砂災害リスクを軽減するため

防護柵をつくります



地元の声

- ・急勾配の山があるため、大雨が降ったりすると非常に心配。（地元住民）
- ・雨が降ると土砂が流出してくるので対策してほしい。（地元住民）

事業の概要

- ■ 事業箇所：沼田市利根町平川
- ■ 事業内容：防護柵工　L＝170m
- ■ 事業期間：令和6年度～

事業前

◆ 斜面が急であるため、大雨等でがけ崩れが発生するおそれがあります。

事業前の状況

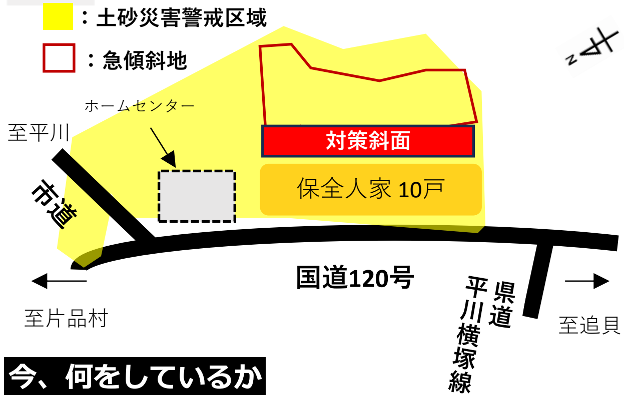
事業後

◆ 防護柵をつくることにより、落石や崩壊土砂を受け止め、がけ崩れによる被害のリスクを軽減します。

事業後のイメージ

成果を示す項目	実施前	実施後（目標）
被害を受けるおそれのある人家	10戸	0戸
被害を受けるおそれのある重要交通網	1路線（国道120号）	0路線

事業の進捗状況（令和7年3月末現在）



今、何をしているか

令和7年度は地質調査、詳細設計を実施します。

上空からの状況

事業のすすみ具合

事業開始 ………………………… 事業完了

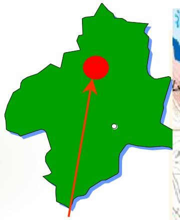
十二河原沢（じゅうにがわらさわ） 土石流対策事業

事業継続中

どのような未来を目指すための事業か

土砂災害リスクを軽減するため

砂防堰堤をつくります



地元の声

- ・梅雨の時期の集中豪雨が心配である。（地元住民）
- ・早期に砂防堰堤を完成させてほしい。（地元住民）

事業の概要

- ■ 事業箇所：みなかみ町新巻
- ■ 事業内容：砂防堰堤　2基
- ■ 事業期間：令和4年度～

事業前

◆ 渓流が荒廃しており、大雨等により土石流や流木が発生するおそれがあります。

事業前の状況

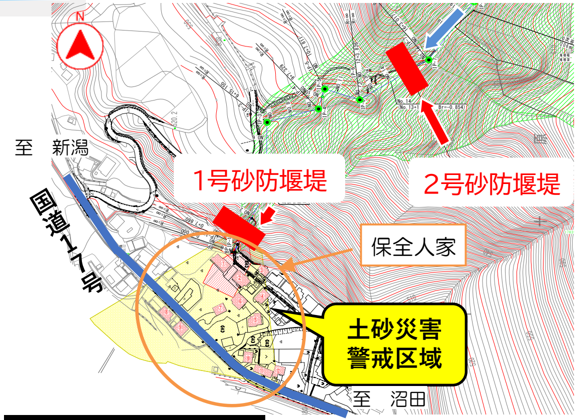
事業後

◆ 砂防堰堤の整備により、大雨等による土石流や流木の被害のリスクを軽減します。

事業後のイメージ

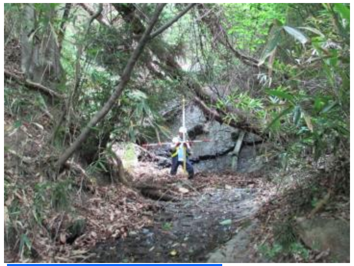
成果を示す項目	実施前	実施後（目標）
被害を受けるおそれのある人家	12戸	0戸
被害を受けるおそれのある重要交通網	1箇所（国道17号）	0箇所

事業の進捗状況（令和7年3月末現在）



今、何をしているか

令和7年度は砂防堰堤と管理用道路の用地測量を実施します。



堰堤設置予定位置

事業のすすみ具合　事業開始 ―――― 事業完了

令和7年度

政策1　災害レジリエンスNo.1の実現

町並（まちなみ）地区　がけ崩れ対策事業

よくわかる公共事業

事業継続中

どのような未来を目指すための事業か

土砂災害リスクを軽減するため

法枠をつくります

地元の声

・急勾配の斜面が住居と近く、大雨が降ったりすると非常に心配。（地元住民）
・雨が降ると土砂が流出してくるので対策してほしい。

事業の概要

- 事業箇所：みなかみ町月夜野
- 事業内容：法枠工 2,000m2
- 事業期間：令和4年度～

事業前

◆ 斜面が急であるため、大雨等でがけ崩れが発生するおそれがあります。

事業前の状況

事業後

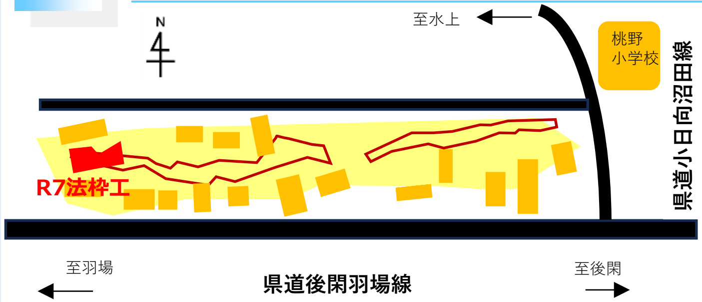
◆ 法枠をつくることにより、斜面を安定させ、がけ崩れによる被害のリスクを軽減します。

事業後のイメージ

成果を示す項目	実施前
被害を受けるおそれのある人家	16戸

実施後（目標）
0戸

事業の進捗状況（令和7年3月末現在）



：保全対象
：土砂災害警戒区域
：急傾斜地

今、何をしているか

令和7年度は用地取得と法枠工事を実施します。

斜面の状況

事業のすすみ具合　事業開始 …… 事業完了

県道戸鹿野下之町線（戸鹿野橋）老朽橋梁架替事業

事業継続中

どのような未来を目指すための事業か

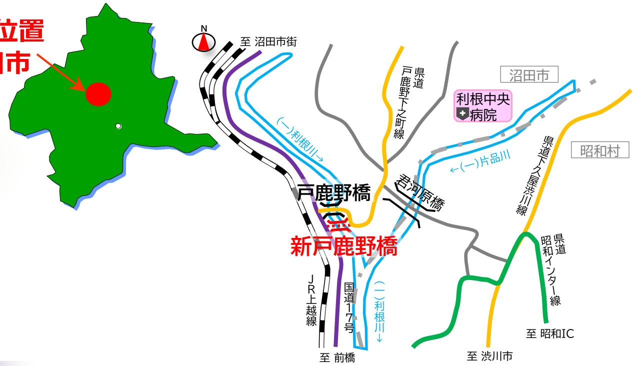
インフラの健全性を次世代に引き継ぐため

老朽化した橋梁を架替えます

地元の声

- ・橋の上の道路幅が狭く車のすれ違いが心配。（地元住民）
- ・重量の制限がなくなると良い。（地元住民）

事業位置 沼田市



事業の概要

- ■ 事業箇所：沼田市屋形原町
- ■ 事業内容：老朽橋梁架替 橋長 88.0m 道路幅 9.75m
- ■ 事業期間：平成30年度～
- ■ 現在の交通量：8,018台/日（自動車）（R3年度）

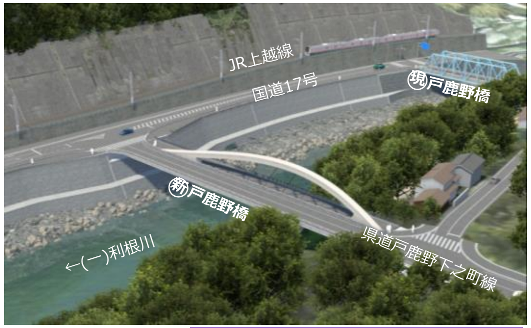
事業前

- ◆ 老朽化によって橋の健全度が低下しつつあることや、道路幅が狭く、すれ違いが困難となっています。
- ◆ 重量14t規制となっており、大型車が通行できないことが課題となっています。

事業前の状況

事業後

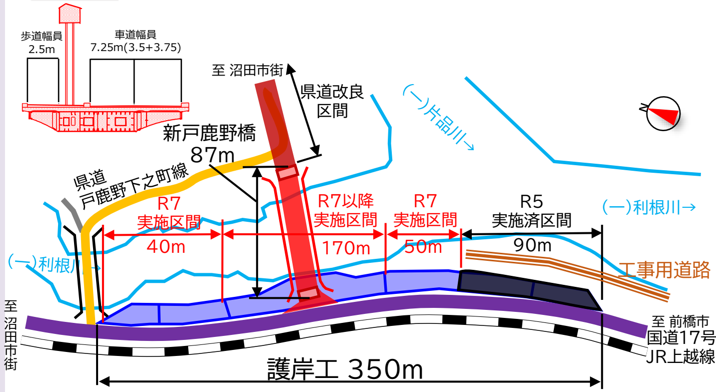
- ◆ 新橋が開通することで橋の健全性が改善されるとともに、大型車が安全に通行可能となります。



事業後のイメージ

成果を示す項目	実施前	実施後（目標）
道路橋の機能の確保	主要部材（主桁等）に損傷あり	損傷なし
大型車交通を可能にする	重量14t規制	重量規制なし（大型車交通可）
道路幅員	5.50m	9.75m

事業の進捗状況（令和7年3月末現在）



今、何をしているか

令和7年度は、護岸工事を実施するとともに、県道改良部分の用地取得を実施します。

事業のすすみ具合

事業開始 ●━━━━ ・・・・・・・・・・ ● 事業完了

県道沼田大間々線（赤城根橋）老朽橋梁架替事業

事業継続中

どのような未来を目指すための事業か

インフラの健全性を次世代に引き継ぐため

老朽化した橋梁を架替えます

地元の声

- 早急に片側交互通行を解消してほしい。（地元住民）
- 安全に通行することができる健全な橋梁を整備してほしい。（地元住民）

事業の概要

- ■ 事業箇所：沼田市利根町園原～利根町日向南郷
- ■ 事業内容：老朽橋梁架替 橋長 79.0m 道路幅 7.0m
- ■ 事業期間：令和3年度～
- ■現在の交通量：1,026台/日（自動車）（R3年度）

事業前

◆ 老朽化を原因とした損傷が発生したことにより、現在も片側交互通行となっており、円滑な通行に支障を来たしています。

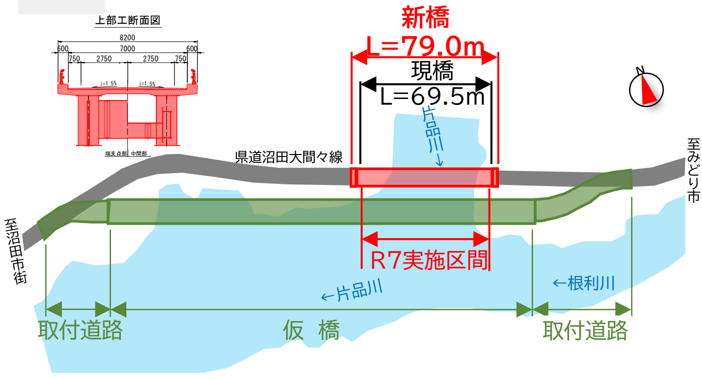
事業前の状況

事業後

◆ 新橋が開通することで橋の健全性が改善され、円滑な通行が確保されます。

事業後のイメージ

事業の進捗状況（令和7年3月末現在）



今、何をしているか

令和7年度は、新橋架替時に必要な迂回路用の仮橋工事を実施し、交通を仮橋へ切り替えます。
その後、現在の橋を撤去する工事を実施します。

【R6.12末現在】

成果を示す項目	実施前	実施後（目標）
道路橋の機能の確保	主要部材に損傷あり（Ⅲ判定）	損傷なし

事業のすすみ具合

事業開始 ━━━━━━━━ ･････････ 事業完了

よくわかる公共事業

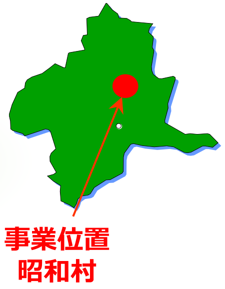
県道昭和インター線（森下工区）バイパス整備事業

事業継続中

どのような未来を目指すための事業か

観光地の周遊性向上による観光振興を図るため

バイパス道路をつくります



地元の声

・現道は交差点が多くルートが複雑で昭和ICへのアクセスが分かりにくい。(観光客)
・現道は幅員が狭く、歩道が無い区間があるため非常に危険である。(地元住民)

事業の概要

- 事業箇所:昭和村森下
- 事業内容:バイパス整備 延長 760m 道路幅 10.0m
- 事業期間:平成26年度～
- 現在の交通量:3,193台/日(現道 自動車)(R3年度)
- 計画交通量 :7,000台/日(バイパス 自動車)(R12年度)

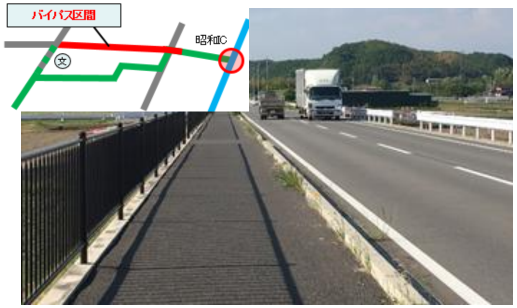
事業前

◆ 現道は線形不良で交差点も多く、昭和インターチェンジまでの通行に支障があります。

事業前の状況

事業後

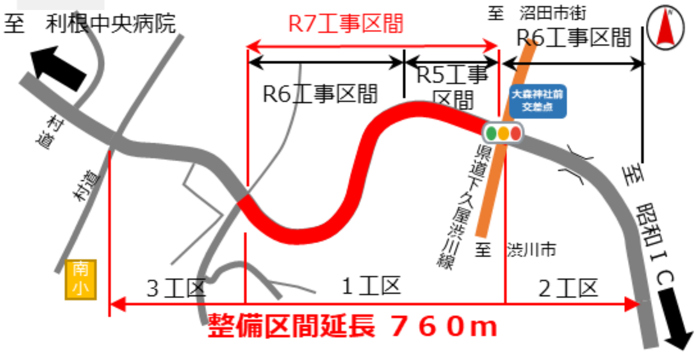
◆ バイパス道路によりインターチェンジまでの交差点数が減り、円滑な通行が確保されます。

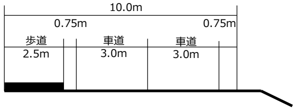


事業後のイメージ

成果を示す項目	実施前	実施後(目標)
周辺観光施設の観光客数	37万人(H25年度)	37万人(維持)
交差点の箇所数(昭和IC～村道1003号)	5箇所	2箇所(3箇所減少)
車両と歩行者のすれ違い	危険(歩道なし)	安全(片側歩道2.5m)

事業の進捗状況(令和7年3月末現在)





今、何をしているか

令和7年度は、道路改良工事を実施します。

事業のすすみ具合

事業開始 ―――――――――― 事業完了

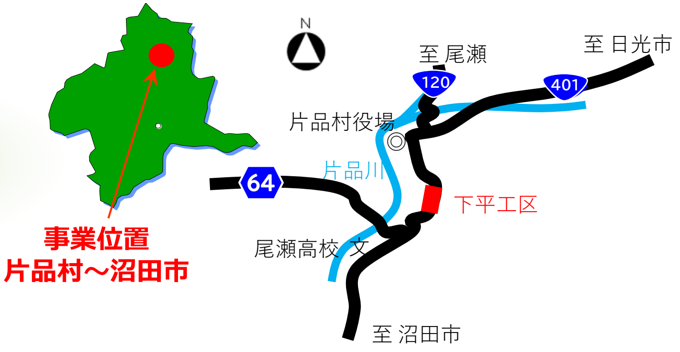
国道１２０号（下平工区）バイパス整備事業

事業継続中

どのような未来を目指すための事業か

観光地の周遊性向上による観光振興を図るため

バイパス道路をつくります



地元の声

・観光地である尾瀬へ向かう道路を円滑に通行できるようにしてほしい。（道路利用者）
・見通しが悪く事故が発生しているため、カーブをゆるくしてほしい。（地元住民）

事業の概要

- 事業箇所：片品村下平～沼田市利根町平川
- 事業内容：バイパス整備 延長580m　道路幅10.3m
- 事業期間：令和元年度～
- 現在の交通量：7,134台/日（現道 自動車）
  （R3年度）　60人/12時間（現道 歩行者）
  8台/12時間（現道 自転者）
- 計画交通量　：7,600台/日（バイパス 自動車）
  （R12年度）

事業前

◆ 道路の見通しが悪く、道路幅員も狭いため、大型車のすれ違いが困難であり、円滑な通行に支障があります。

事業前の状況

事業後

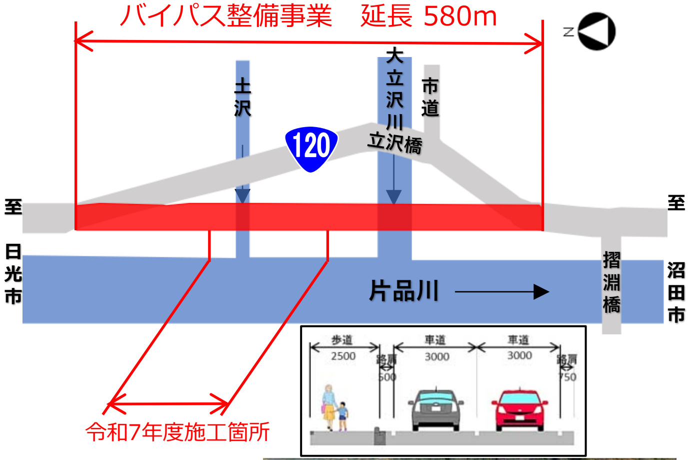
◆ バイパス整備により急カーブを解消するとともに、道幅が広く、見通しの良い道路とすることで、円滑な通行を確保します。

事業後のイメージ

成果を示す項目	実施前
急カーブ数	1箇所
周辺観光施設の観光客数	168万人/年（H30）

実施後（目標）
0箇所（1箇所減少）
168万人/年（維持）

事業の進捗状況（令和7年3月末現在）



今、何をしているか

令和7年度は、盛土工事を行います。

事業のすすみ具合

事業開始 ―――――― 事業完了

県道富士山横塚線（横塚工区）現道拡幅事業

よくわかる公共事業

事業継続中

どのような未来を目指すための事業か

安全で快適な移動を可能にするため

道路を拡幅します

地元の声

・「道の駅川場田園プラザ」など川場村内の観光施設に行く際に渋滞が激しい。（観光客）
・道路を広げたり歩道を設置して通行の安全を確保してほしい。（地元住民）

事業の概要

- 事業箇所：沼田市横塚町
- 事業内容：現道拡幅 延長300m 道路幅9.75m
- 事業期間：平成28年度～
- 現在の交通量：3,621台/日（自動車）（R3年度）

事業前

◆「道の駅川場田園プラザ」など、川場村内の観光施設を訪れる観光車両により、沼田ICの周辺道路で渋滞が発生しており、円滑な通行に支障があります。

事業前の状況

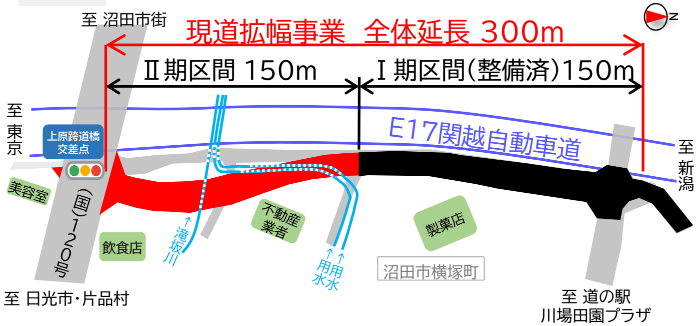
事業後

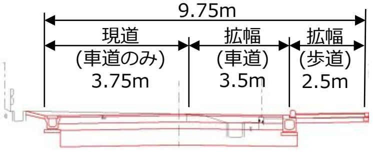
◆ 道幅が狭い区間を拡幅し、観光車両を県道富士山横塚線へ誘導することで、周辺道路の渋滞を解消、円滑な通行を確保します。

事業後のイメージ

成果を示す項目	実施前	実施後（目標）
県道平川横塚線の渋滞長（最大）	1,300m	0m（1,300m短縮）
周辺観光施設の観光客数	165万人（H27年度）	165万人（維持）

事業の進捗状況（令和7年3月末現在）





今、何をしているか

令和7年度は、引き続きⅡ期区間の用地取得および道路改良工事を実施します。

【Ⅰ期区間完成】

【Ⅱ期区間着工前】

事業のすすみ具合　事業開始 ―――――――― 事業完了

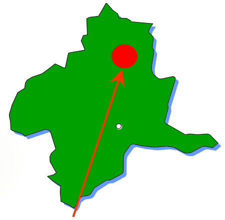
国道１２０号（追貝工区）現道拡幅事業

事業継続中

どのような未来を目指すための事業か

観光地の周遊性向上による観光振興を図るため

**道路を拡幅し
カーブをゆるくします**



事業位置
沼田市

地元の声

・路面凍結による事故が多いため、日当たりをよくし、カーブをゆるくしてほしい。（地元住民）
・観光バス等の大型車両の通行が危険なため、道路を広げて見通しをよくしてほしい。（地元住民）

事業の概要

- 事業箇所：沼田市利根町追貝
- 事業内容：現道拡幅 延長 0.5km 道路幅 10.25m
- 事業期間：平成27年度～
- 現在の交通量：9,061台/日（現道_自動車）
  （R3年度）　23人/12時間（現道_歩行者）
  8台/12時間（現道_自転車）

事業前

◆ カーブが連続しているため、道路の見通しが悪く、安全で円滑な通行に支障があります。

事業前の状況

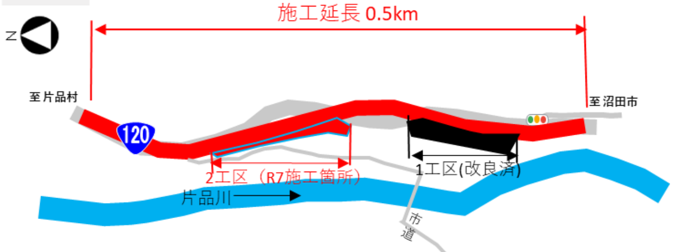
事業後

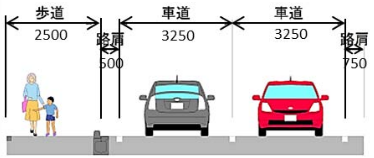
◆ 道路のカーブを緩くして、見通しを良くすることで、円滑で安全な通行を確保します。

事業後のイメージ

成果を示す項目	実施前	実施後（目標）
解消カーブ数	4箇所	0箇所（4箇所減少）
周辺観光施設の観光客数	181万人（H26）	181万人（維持）

事業の進捗状況（令和7年3月末現在）





今、何をしているか

令和7年度は、2工区の道路改良工事を実施します。

【1工区完成】

事業のすすみ具合　事業開始 ―――― 事業完了

令和7年度 政策3　未来につながる魅力的なまちづくり

県道平川横塚線（川場湯原工区）歩道整備事業

よくわかる公共事業

事業継続中

どのような未来を目指すための事業か

こどもたちが安心して通学できる環境を確保するため

歩道を整備します

地元の声

- 近年工場の稼働で大型トラックの通行が増え、登下校がとても不安です（地元小学生保護者）
- 路肩を歩く歩行者を見るたび、大型トラックに接触しないかヒヤヒヤします（学校関係者、地元企業）

事業の概要

- ■ 事業箇所：利根郡川場村川場湯原
- ■ 事業内容：歩道整備　延長1,100m、歩道幅員2.5m
- ■ 事業期間：令和4年度～
- ■ 現在の交通量：5,401台/日（自動車）
  （R3年度）　22人/12時間（歩行者）
  10台/12時間（自転車）

事業前

◆歩道が狭く、通学するこどもが交通事故の危険にさらされています。

事業前の状況

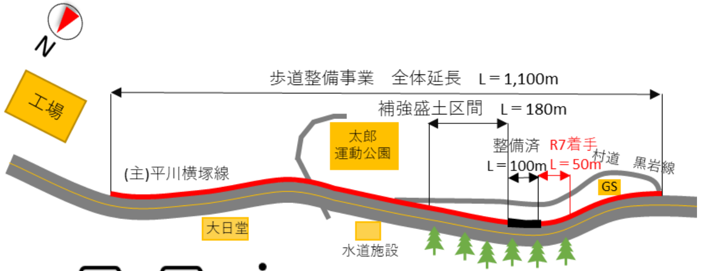
事業後

◆歩道を整備し、歩行者の安全な通行空間を確保します。

事業後のイメージ

成果を示す項目	実施前	実施後（目標）
法指定通学路の歩道整備率	0%	100%
幅員2m以上の歩道の整備率	0%	100%

事業の進捗状況（令和7年3月末現在）



今、何をしているか

令和7年度は、用地取得及び、補強盛土区間の歩道整備工事を行います。

事業のすすみ具合　事業開始 ―― 事業完了